

「選挙権年齢の引下げに応じた、未来を担う若者にとって府議会を身近なものとする広報広聴活動の実施検討」に関する検討結果〔概要〕（案）

－広報広聴会議報告－（平成29年9月）

1 検討の経緯

(1) 議長からの議会改革に関する諮問

京都府議会は、これまでから、府民のための議会のあり方を求めて議論を重ね、開かれた議会や政策提案機能・監視機能の充実に向けたさまざまな議会改革を実施してきたところである。

平成29年7月3日、時代の要請に応じた新たな議会改革の課題として、「選挙権年齢の引き下げに応じた、未来を担う若者にとって府議会を身近なものとする広報広聴活動の実施」に関する事項について検討するよう、議長から議会運営委員会に諮問がなされた。

(2) 議会運営委員会からの検討依頼

議長からの諮問を受け、議会運営委員会から広報広聴会議に対し、「高校生等が府議会や議員との直接の関わり合いを通じて、府議会への関心を高めることができる若者参加型の広報広聴活動」及び「高校生等が府議会について興味を持つきっかけとなるような、若者への発信力がある広報広聴活動」の実施案の作成について依頼がなされた。

2 検討の進め方

- ・ 広報広聴会議において、議長諮問及び議会運営委員会からの依頼事項を確認の上、京都府議会及び他府県議会における若者に対する広報や情報発信の取組状況について確認。
- ・ その上で、「若者参加型の広報広聴活動」及び「若者への発信力がある広報広聴活動」の実施案について、それぞれ検討し、実施案を作成した。

■ 広報広聴会議の開催状況

- ・ 委員 中川貴由座長、園崎弘道委員、馬場紘平委員、田中健志委員、小鍛冶義広委員
- ・ 開催状況 平成29年8月22日(火)、9月11日(月)、9月25日(月)
計3回開催

3 検討の結果

(1) 若者参加型の広報広聴活動の実施案

府議会への関心を高めることができる若者参加型の広報広聴活動について検討した結果、以下の2つの取組を実施案とすることとした。

① お出かけ広報広聴会議

広報広聴会議委員が府内の高校等に出向き、府議会の役割や仕組み等を説明するとともに、高校生等と意見交換を行うことにより、高校生等に府議会及び議員を身近に感じてもらい、府議会や府政への関心を高める。

② 高校生（大学生）議会

未来を担う高校生等が議員となり、府議会の議場で知事等へ質問や政策提案を行う模擬議会を開催することにより、高校生等に府議会や議員の役割について理解を深めてもらい、府議会への関心を高める。

(2) 若者への発信力がある広報広聴活動の実施案

高校生等が府議会に関心を持つきっかけとなるような、若者への発信力がある広報広聴活動について検討した結果、以下の取組を実施案とすることとした。

① SNS（ツイッター・フェイスブック）による情報発信

若者等の利用が多いSNS（ツイッター・フェイスブック）に、タイムリーに議会情報を発信することにより、府議会に興味を持つきっかけをつくる。

② 高校の校内新聞等への議会記事掲載（教育委員会と調整の上、実施）

府内高校の校内新聞に府議会の記事を掲載してもらうことにより、府議会に興味を持つきっかけをつくる。

4 その他

上記実施案のほか、「大学生との座談会」など、若者等への効果的な広報広聴活動に積極的に取り組んでいくこととする。